

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 2 - 18
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業
細要素事業名	津波避難施設整備事業
全体事業費	2,297,683 <del>2,284,564</del> (千円)

**<概要>**  
 本市における津波対策は、減災の視点を意識し、海岸・河川堤防や道路のかさ上げ、避難施設や避難道路と土地利用の見直し（防災集団移転）や津波からの円滑で確実な避難のための取り組みなどを複層的に組み合わせた、多重防御による総合的な対策である。  
 本事業が対象とする地域は、近くに高台がなく、避難ビルに指定できる建物も限られている。また、車での避難は渋滞等の危険性があるため、基本は徒歩避難とし、徒歩で避難できる範囲（500～900mを設定）内に以下の津波避難施設を整備する。

**<事業費>**  
 工事費・工事監理費・標識整備（27年度（今回申請分））  
 ・津波避難施設整備に係る新築工事等 152,448千円  
 ①高砂中学校（津波避難階段）（今回申請なし）  
 ②仙台港背後地3号公園（避難タワー）（今回申請なし）  
 ③岡田小学校（津波避難階段）（今回申請なし）  
 ④港南東公園（避難タワー）（今回申請なし）  
 ⑤南蒲生北部（避難タワー）（今回申請なし）  
 ⑥南蒲生南部（消防分団施設併設）（今回申請なし）  
 ⑦新浜（避難タワー）（今回申請なし）  
 ⑧笹屋敷（消防分団施設併設）（今回申請なし）  
 ⑨三本塚北部（避難タワー）（今回申請なし）  
 ⑩三本塚南部（消防分団施設併設）（今回申請なし）  
 ⑪井土（避難タワー） 152,448千円（工事費・備品整備等）  
 ⑫二木（消防分団施設併設）（今回申請なし）  
 ⑬種次（消防分団施設併設）（今回申請なし）

**<基幹事業との関連性>**  
 本事業は円滑な避難のための施設整備を行うものであり、防災集団移転事業と連携して市民の命と暮らしを守り、津波で被災した本市東部地域の復興まちづくりに相乗効果を加えるものである。

**<参考>**

H25年度	調査設計費、用地費	161,762千円（H25.7.23申請分）
	工事費	27,958千円（H25.11.18申請分）
H26年度	工事費・備品整備・標識整備	240,436千円（H26.8.4申請分）
	工事費・標識整備	79,296千円（H26.9.10申請分）
	造成工事	94,919千円（H26.12.12申請分）
H27年度	工事費・備品整備・標識整備	225,233千円（H27.3.30申請分）
	工事費・備品整備・標識整備	152,448千円（今回申請分）
	工事費・備品整備・標識整備	1,315,631千円（今後追加申請分）

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。